

てんけんくんが行く!!

7000形ロマンスでよお〜

〜小田急電鉄(株) 編〜

第12弾



「ロマンスカー」とは、小田急電鉄が運行している全座席指定制の特急用車両の総称。3100形からの展望席（取材したのは7000形）や、軽やかな音色のミュージックホーンを演奏しながら疾走する姿は一世を風靡した。

業界のマスコットキャラクター「てんけんくん」がさまざまな場所へ突撃取材を行うシリーズ「てんけんくんが行く」の第12弾。「小田急電鉄株式会社」の大野工場にて主任技術員をされている岩城正明さんにてんけんくんが突撃！小田急電鉄の看板特急でもあるロマンスカーの最新設備を使った点検整備に感激！

☆

てんけんくんは旅に出ている。
ロマンスカーから望む箱根の山々と垣間見る小川のせせらぎ。
風にあおられ、下から吹き上げる霧雨までも心地よい。車輪がレールの繋ぎ目をまたぐたび、かすかに聞こえる運行音が眠りを誘う。

「むにゃむにゃ…ロマンスカーはどうやって…点検…」

湯煙と硫黄の香りがてんけんくんの心を癒す。
まどろみながらも、点検整備が気になるてんけんくんであった。

☆

小田急電鉄の大野工場におじゃましててんけんくん。さっそく、岩城さんにお話を伺った。

てんけんくん：うわあ…。電車をバラバラにしていますね！これはどのような作業をしているところなのですか？

岩城さん：てんけんくんの目の前で分解されているのは「定期検査」を行っている車両です。この作業は4年または走行距離60万kmのどちらか先に達し

岩城正明さんとガッチリ握手！



た場合に行う点検整備作業で、車両と台車を分離させ、細かいところまで分解して点検整備を行います。試運転を含めた点検整備を8日間という期間で完全な電車に仕上げます。

てんけんくん：なるほど！ところで、ロマンスカーの特色ってなんですか？

岩城さん：ロマンスカー7000形車独特の構造と言えば、先頭車両が流線型になっていて空気抵抗を少なくしているところです。また、展望席の大型カーブガラスは特注品で簡単に割れないように2重構造になっています。

てんけんくん：2重構造のガラスですか…すごいですね…。あ、あれ?! 機械が車輪を削っていますよ！

岩城さん：車体から外された台車は自動洗浄装置できれいにされ、目に見えないキズを超音波探傷装置（超音波で亀裂や歪みを見付ける検査）で確認しています。一つでも大きさが違う車輪が混じっていると、走行時に車体が振動してしまうため、全ての大きさが均一でなくてはなりません。1ミリの狂いも見逃

◎台車抜き作業。長さ16メートル、重さ32トンの車体を通り過ぎる！



台車洗浄装置で台車をきれいにする。



着色部位が整備のため取り外される。図では、珍しい「連接台車」(車両と車両の間に台車がある)を7000形ロマンスカーが採用しているのがわかる。

◎外した部品を丹念に点検整備。

さない精度で整えます。車輪はロマンスカーの乗り心地に直結しますから、メンテナンスには最も気を遣います。

てんけんくん：車輪に何か特殊な加工がされているようなのですが、あれは…？

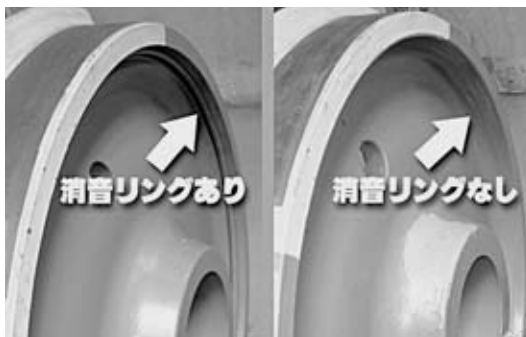
岩城さん：あれは「防音車輪」と呼ばれるものです。小田急電鉄では騒音対策として、10年前から全ての車両にこの「防音車輪」の採用に取り組んでおります。これはカーブ時に発生する「キシリ音」を軽減する車輪で、沿線住民の方々への騒音による不愉快な思いをさせないための配慮です。

また、7000形車は「連接台車」を採用しています。「連接台車」とは、一般の車両と異なり車両と車両の間に台車を配置した構造のこと。この構造は電車がカーブを走る際に静かで安定した高速走行が可能で、お客様へ快適な乗り心地をご提供できるというメリットがあります。

てんけんくん：周囲への配慮も忘れないんだ！スゴイ！岩城さんは整備作業を行う上でどんなことを目標にしていますか？

岩城さん：私達はお客様に安全で快適に乗っていただけるよう車両を整備するとともに、徹底した作業の合理化を目指しております。整備作業の自動化ラインに代表される、検査精度の向上ならびに作業の効率化等を目的とした設備の導入を進めております。

そして、今までのクオリティを維持した上で、更



消音リングあり(左)となし(右)の車輪。

に新たなサービスを見つけ出し、お客様へ提供することです。

私達は「乗車されるお客様はもとより沿線にお住まいの方々も十分に考えて点検整備する」ことをモットーにしております。これは大切な家族や友人を乗せる自動車にも共通することではないでしょうか。

てんけんくん：なるほど！乗る人のことだけでなく沿線の人達のことまでを考えて点検整備か！さすが整備のプロ！よ～し、僕も点検整備の大事さをみんなにもっと広めなきゃ!!

☆

「てんけんくん」の好奇心は止まらない。明日はどこに突撃するのか……(続く)

取材協力：小田急電鉄株式会社



てんけんくんが2階にあるロマンスカーの運転席に！ちょっとキツそう？
ちなみに運転席へは1階客席からハシゴを使って入るんだ。